

『北九州ゆめみらいワーク 2020』への出展について

1 開催に向けての現状（雇用政策課聞き取り）

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今夏の出展を延期（例年 8 月）。
 - ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況等を勘案し、8月中旬に決定。
- 現状の予定 開催時期：令和 2 年冬頃
 開催場所：未定（調整中）

2 出展に向けた検討体制と検討状況

（1）体制等

- ・福岡県産業資源循環協会北九州支部（本事業の委託契約受託者）より、40 代以下を中心に 5 名を選出。同支部事務局、本市との協議により出展への準備を進める。
- ・本事業の最終目標は雇用創出だが、今回はそれに先立ち、「産廃業」を広く学生等に知ってもらう事を目的とする。
- ・ブース広さは 2 コマ（3×6 m）が基本。（但し、コマ単位で調整可能）
- ・出展主体は環境局産業廃棄物対策課。但し、パンフレット等への出展者の記載を「本市産廃課」とすると、市役所の仕事体験だと来場者が勘違いしやすい。市技術監理局の出展例（部署名は記さず企業名欄に「明日の北九州市を創る建設業」と記載）等に倣い工夫する。
- ・昨年度の視察では、来場者が触る・動かす等の体験ができるブースへの来場者が多かった事から、ブース構成に「体験」は大事な要素。但し、来場者との接触が増える事から、コロナウイルス対策が必要となる本年度は、展示物をメインに据える事も併せて検討する。

（2）検討状況

（2-1）体験コーナー

- ・時間指定（次回は〇分後等）せずに、随時対応できる内容を検討する。
- ・汚水浄化実験（県産業資源循環協会が環境学習として実施）を想定。（汚水に凝集剤を加え攪拌し、汚物を沈殿させるもの。実験後の廃水処分等の課題については、今後精査が必要。なお、実際の処理ではこの後、フィルタープレス等により脱水ケーキと水に分離。）
- ・VR で来場者の興味を惹けないか。
⇒費用等調査の結果、本年度は予算及び感染防止のため、見送り。
- ・体験コーナーで使用する椅子の背もたれに、リーフレット表紙（ECO GURDIAN）を張り付け、ブースに一体感を持たせる。

(2-2) 展示物・展示パネル

- ・PRリーフレットをパネル化し産廃処理業界が「産業を支え、環境を守り、世の役に立っている。色々な仕事内容がある」等を伝える。
- ・展示物の方が来場者の目に入りやすい。例えば動く選別機や各種模型などを持つ許可業者を調査中。

(リサイクル金メダルなど最終製品が来場者の目を惹くとの意見有)

- ・大型ディスプレイを用い、様々な仕事・人の写真を音楽と共にスライドショー形式で流す。リーフレット掲載企業に写真撮影の協力を願う事で、費用等の削減が可能。但し、社名は伏せる。

(詳細は資料2で説明)

- ・ていたん・ブラックていたんの着ぐるみは、現状では来場者とのふれあい等認められず活用が困難。ていたんパネルを受付近辺に設置する方向で検討。
- ・展示パネルはリーフレットを活用。表紙 (ECO GURDIAN) を中心に据え、ブースの一体感を持たせる。

(2-3) ノベルティ

- ・(案1) 古紙リサイクルに通じる、トイレットペーパー (えこっぱー)。
- ・既成の個別包装に、リーフレット表紙 (ECOGURDIAN) を印刷したオリジナルステッカーを添付する。または特注の個別包装を作成し、ゆめみらいワークオリジナルとする方向で協議中。但し、これを入れる透明な袋が必要。
- ・(案2) ノベルティを ECOGURDIAN を印刷したエコバッグとし、リーフレット等の中に入れて手渡す。ノベルティを入れるプラ袋を削減可。
- ・来場者アンケートと引き換えに、ノベルティとリーフレットを渡す。

(2-4) 来場者アンケート

- ・来場者の興味内容等について簡単なアンケートを徴し、次回の出展の可能性等を検討する。